

中学生版 ブックリスト

ビーだま



2014年 No.36

<編集・発行>

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273

平成26年10月27日発行

(年2回発行)

2014年1月～6月に図書館に入った本の中から、
とくにおすすめの本を紹介します。



クラスメイツ 前期・後期

森絵都/著 偕成社



北見第二中学校、1年A組には24人の生徒がいる。ムードメーカーの心平に優等生の委員長ヒロなど、個性豊かな面々だが、それぞれに人には言えない思いがある。

千鶴は、新しい友達のしほりんと吹奏楽部に入ること
で、今までにない自分を見つけようとする。かたや、しほりんは、グループから仲間外れにされないかと不安に思う。ときに友達との関係に迷い、とまどう目まぐるしい一年を、クラス全員を主人公にした24のストーリーで描く。

ダッシュ！

村上しいこ/著 講談社



陸上競技部の真歩は、次期キャプテンに指名された。みんなを束ねるタイプではない真歩は、キャプテンらしくふるまえず、タイムも落ちてしまう。才能豊かな新入生も入部し、リレーの第一走者も危うい。

落ち込む真歩は、不器用ながらも、全力ダッシュをするように、どんなキャプテンになりたいかを模索していく。

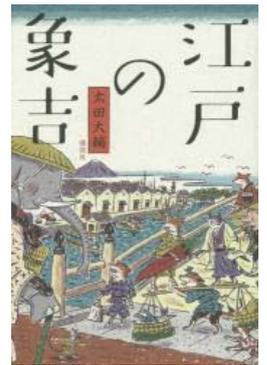


江戸の象吉

太田大輔/作 講談社

ここは江戸の町、住んでいるのは、人間ではなく動物たちだ。ある日、旅姿のゾウがどこからともなくやって来て、魚屋で働きたいと申し出る。体の大きさに皆はびっくり仰天するが、体に似合わぬ優しさで、象吉はすぐに人気者になる。

大火事のあった夜には、火消しに奮闘するなど大活躍の象吉だったが、実はある秘密があった。そんな象吉に、時の将軍、猫宗より、江戸城に来るようにとの知らせが入る。



伝説のエンドーくん

まはら三桃/著 小学館



市立緑山中学校の校内には、伝説のヒーロー「エンドーくん」にまつわる数々の落書きが残っている。落書きは代々の生徒や教師を勇気づけてきた。

例えば、転職を迷う石田先生の背中を押したのは、「エンドーくんは変化をおそれない」の落書きだった。北野先生は、自分の攻撃的な感情をもてあますが、「エンドーくんは魔王に勝つ」の落書きに勇気づけられる。

夏の朝

本田昌子/著 木村彩子/画 福音館書店



莉子^{りこ}は、亡くなった祖父の一周忌のため、母の生まれ故郷へと向かう。祖父の家に泊まった莉子は、不思議な夢を見た。元気なころの祖父が出てきて、莉子に台所の床下を見ってみるように告げるのだ。夢から覚めた莉子が床下をのぞくと、祖父が苦労して育てた蓮の実が入っていた。

莉子はそれから毎日不思議な夢を見るようになる。夢の中の祖父は日を追うごとに若返っていった。



ルーシー変奏曲

サラ・ザール/著 西本かおる/訳 小学館

ルーシーは、幼いころから天才ピアニストとして活躍してきた。しかし、音楽一家の名誉に執着する祖父によって、祖母の死を隠されていたことにショックを受け、ピアノをやめてしまう。

あるときルーシーは、新しいピアノ教師のウィルに出会った。ウィルは、これまでと違うタイプの教師で、さけていたピアノへの想いに気づかせてくれる。



夏の魔法 ペンダーウィックの四姉妹

ジーン・バズオール/作 代田亜香子/訳 小峰書店

ペンダーウィック家の四姉妹は、夏休みを過ごそうとコテージにやってきた。コテージの持ち主のミセス・ティフтонは気難しい性格だが、姉妹は息子のジェフリーとすぐに仲良くなる。

しかし、姉妹はある事件からティフトンの怒りを買ってしまった。そのうえジェフリーが、ティフトンの恋人の策略により、遠くの学校へ追いやられることになる。



ゴールデンDream 果てしなき砂漠を越えて

ロイド・アリグザンダー/作 宮下嶺夫/訳 評論社



カルロは、ふとしたことで手に入れた宝の地図を握りしめ、宝探しの旅に出た。途中、調子のいいラクダ引きや、復讐心に燃える少女、知恵のある老人が仲間になる。

砂漠の旅は過酷をきわめ、カルロたちは盗賊の襲撃や自然の脅威にさらされる。しかし、語ることを商売にする「物語屋」や、夢を売る男など、不思議な人物にも遭遇する。そんな折、カルロが悪党一味に拉致されてしまう。



さよならのドライブ

ロディ・ドイル/作 こだまともこ/訳 フレーベル館

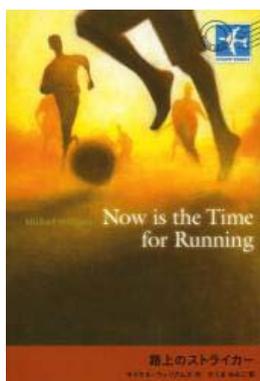
ある日メアリーは、ひいおばあちゃんの幽霊に出会う。若くして亡くなったひいおばあちゃんは、自分の娘、つまりメアリーのおばあちゃんに、死ぬのは怖くないと伝えにきたのだ。

メアリーとママは、入院しているおばあちゃんを外に連れ出すことにする。おばあちゃん達の思い出の地をめざして、女4世代、最初で最後のドライブが始まる。



路上のストライカー

マイケル・ウィリアムズ/作 さくまゆみこ/訳 岩波書店



15歳のデオは、生まれ育ったジンバブエの村で兵隊たちによる虐殺に遭遇する。母と祖父を失ったデオは、障害のある兄、イノセントとともに南アフリカを目指した。

しかしやっとたどり着いた地で、外国人を憎む暴徒に襲われ、イノセントが殺されてしまう。悲しみからシンナー中毒になったデオだが、ストリートサッカーの選手に見出され、生きる気力を取り戻していく。

【 執筆：水島（大沢野図書館） 】